

医療英語特論

[講義] 第1・2学年 後期 選択 2単位

《担当者名》 坊垣暁之 江本美穂

【概要】

英語は、科学分野における研究の共通言語であり、また、研究で得られた成果は、英語で書かれた科学論文により世界中に発信される。このため、基礎医学から臨床検査、診療に関する最新の情報も英語論文から得る必要が生じている。そこで医療英語特論では、英語論文から国内外における最新の知見を得るために必要となる科学論文について包括的に学習する。具体的には科学論文の種類や構造、基本的な読み方の習得に加え、実際の英語論文抄読を通して必要な情報を収集する術を身に付けることを目標とする。また、英語論文から得た情報を第三者へ正しく伝える方法を取得することを最終目標とする。

【学修目標】

- 1) 論文の種類、エビデンスレベルを説明できる。
- 2) 英語論文の構成を説明できる。
- 3) 英語論文から必要な情報を取得して説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1～4	英語論文の概要	<ul style="list-style-type: none">論文の種類論文のエビデンスレベル論文評価の指標英語論文が掲載されるまでの流れ英語論文の構成論文検索の仕方英語論文の読み方	坊垣暁之 江本美穂
5～9	英語論文の抄読1	<ul style="list-style-type: none">基礎研究論文の抄読	坊垣暁之 江本美穂
10～14	英語論文の抄読2	<ul style="list-style-type: none">臨床研究論文の抄読	坊垣暁之 江本美穂
15	英語論文内容の発表法	<ul style="list-style-type: none">背景因子の理解第三者への伝達方法	坊垣暁之 江本美穂

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション 50%

レポート 50%

【評価基準】

科学分野における英語論文の意味を理解し、記載内容について適切な点および不適切な点を評価できる者に対して単位を付与し、学修目標に記載する能力（知識・技能、思考力、判断力、表現力など）の達成度に応じて、優（80点以上）、良（70点以上）、可（60点以上）の評価を与える。

【備考】

適時、プリント等の資料を配布します。

【学修の準備】

英語論文を含む配布資料について、事前に読解しておくこと(80分)。

講義に関するキーワードについて、調べておくこと(80分)。

【ディプロマポリシーとの関連性】

(DP4) 身近な地域および国際的な保健・医療や社会の動向に目を向け、常に自己研鑽に務め、修得した能力を社会へと還元し、自ら成長できる能力を身につけていること。

【実務経験】

坊垣暁之(医師)

(2026年度・大学院 医療技術科学研究科)

江本美穂(臨床検査技師)

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、医療英語の講義を行う。